

永山氏が 事務所開き

延岡市長選

2017.5.27
宮日

来年2月に任期満了を迎える延岡市長選に立候補を表明している元県総合政策部長の永山英也氏(59)＝同市富美山町＝は26日、同市別府町で後援会事務所開きを行った。

永山氏は集まった支援者に対し「延岡の一番の課題は人口減への対応。若い人が残りたいてい、帰ってきたいという地域をつくるのが肝要」と訴え。「そのために得意分野のものづくり産業を伸ばすこと、農林漁業を発展させていくことが重要。観光もポテンシャルを持っているので、十分生かしたい」と強調した。事務所開きには、河野知事、首藤正治市長も出席した。市長選には同市出身の元総務省官僚、読谷山洋司氏(53)が立候補を表明している。

(木上友貴)

自民江藤氏 事務所開き

宮崎2区

2017.10.3
宮日

衆院選(10日公示、22日投票)で、宮崎2区に立候補を表明している自民党前職の江藤拓氏(57)の事務所開きは2日、日向市日知屋であった。河野知事や県議、自治体

首長、支援団体関係者らが出席した。江藤氏は「背負っているものがいかに大きいか感じている

る。自分の言葉と行動に責任を持ち、皆さんの思いを裏切らないように真つすべに道を歩んでいきたい」と決意を述べた。緒嶋雅晃選対本部長もあいさつし、「大義なき解散」と言うが、北朝鮮情勢や地方創生など全ての課題に大義はある。政権存続のため頑張ろう」と訴えた。(小谷実)

3区古川氏も

衆院選宮崎3区に立候補を表明している自民党前職の古

川楨久氏(52)の事務所開きは2日、都城市姫城町であった。党所属の県議、市議や公明党市議のほか、都城市、三股町の両首長、支援団体関係者らが出席した。

古川氏は「いきなりの解散で最初は少々戸惑いもあったが、死力を尽くして6選を果たしたい。人口減少という困難に立ち向かい、選挙戦を通じて地域の結束を呼び掛け、郷土の振興のために弾みをつけたい」と訴え。新党「希望の党」を巡る動きなどを念頭に、「自民党にとって決して生易しい状況ではない」と述べた。(測上耕明)

県選管説明会

10陣営が参加

県選管は2日、衆院選(10日公示、22日投票)の立候補予定者説明会を県庁で開いた。県内3小選挙区に立候補の意向を表明している10陣営が参加。新党「希望の党」から立候補を目指す元文部科学相中山成彬氏(74)＝宮崎市＝の陣営も、比例代表で受け付けをして出席した。

内訳は1区が4陣営、2区が4陣営、3区が2陣営。1

知事の動き

7日

【午前】10時15分、宮崎市の交シテイで第35回技能まつり・ものづくりフェスタ開会式。11時、同市内で後援会開会式。

【午後】0時40分、同市のKIT RISHIMAサンマリンスタジアム宮崎でプロ野球チーム日本選手権開会セレモニー。4時30分、延岡市の延岡城址(じょうし)で延岡御膳会食会。5時30分、同所で第21回のべおか天下第一新能。終了後、公舎へ。

武井氏事務所開き

衆院選(10日公示、22日投票)で、宮崎1区に立候補を表明している自民党前職の武井俊輔氏(42)の事務所開きは7日、宮崎市日ノ出町であった。河野知事や自民、公明

党の県議、自治体首長、支援団体関係者らが出席した。3期目を目指す武井氏は「行政、政治には長い積み重ねがある。それを時代や社会情勢に合わせて変え、少しずつよい方向にしていくのが私たちの政治だ」と強調。希望の党に触れながら、「これまでの選挙と比べ、構図は一番厳しい。まじめに訴え、自公連立の絆を確認しながら、全力で戦う」と力を込めた。(佐賀信行)

知事の動き

2日

【午前】8時、日向市内で後援会開会式。10時25分、都城市内で後援会開会式。11時、同市の都城さくら聴覚支援学校で知事の白熱教室。

【午後】2時10分、関係課打ち合わせ。5時、みやざき大使の沖克洋シェフらが宮崎マルシェ2017福岡開催の報告で表敬。50分、退庁し、公舎へ。